

表 シカゴ連銀経済報告（2019年10月16日公表）

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	雇用はわずか（slightly）に拡大 賃金はわずかに上昇	企業からは、今後1年間の雇用は同様のペースで拡大するとの声が聞かれた。人材市場は引き続き厳しく、全てのスキルレベルで人材が不足しているという。 専門職、技術職、管理職、製造作業員において賃金が増加した。多くの企業から福利厚生費用の上昇が報告された。
物価	小売価格・生産者価格ともわずかに上昇	関係者は今後1年間の物価上昇はやや加速すると予想している。 小売価格は追加関税の影響でわずかに上昇した。生産者価格はやや上昇傾向にある人件費と材料費の影響でわずかに上昇した。
個人消費	わずかに増加	ライトトラック新車の売り上げは緩やかに上昇したものの、自動車ディーラーは販売による利益の縮小が続くとしている。中古車販売は力強いペースを保っている。 ゼネラルモーターズ（GM）のストライキの影響は新車販売にはまだ出ていないものの、自動車部品の供給不足が生じており、自動車の修理にかかる日数が延びる傾向がみられた。 関係者は11月下旬の感謝祭を起点とする年末商戦期間の売り上げは、昨年と同程度かわずかに上昇すると予想している。
企業支出	わずかに上昇	設備投資はわずかに上昇し、今後1年間は同様のペースを維持するとみられる。 引き続き、主な設備投資は工業設備やIT設備の更新、建物の改修にかかるもので、通商の不確実性が増している現在の局面においては、投資を控え、サプライチェーンの多様化の取り組みに拍車がかかっている。 ほとんどの製造業が適正な在庫状況を保っているが、ステンレススチールは在庫不足となっている。関係者はGM車の在庫量は少しずつ減少していると報告している。
建設と不動産	わずかに拡大	住宅建築は控えめに増加したものの、非住居建築はほとんど動きがなかった。 商業不動産の動きはわずかに拡大した。関係者によると、テナント付き建物への投資家の需要は引き続き力強い。
製造業	わずかに縮小	自動車業界からの需要はやや下落したものの、堅調なレベルを保っている。鉄鋼の需要はわずかに下落した。重機械の需要も石油・ガス業界からの需要の低下を受け、わずかに下落した。自動車業界からの需要低下を受け、特殊金属の受注が減少している。 大型トラックの受注は関係者の予想に反して伸びた。
金融	控えめに（modestly）改善	わずかに改善した。商業不動産ローンの借り換えが増加した。 住宅ローンの借り換えと住宅購入によって個人ローンの需要がわずかに増加した。
農業	天候不順による収穫の遅れを憂慮	天候不順の影響で例年より遅れていたトウモロコシおよび大豆の収穫が少しずつ始まった。関係者は霜が降りる時期までにどれだけの穀物が成熟するか不安を募らせており、収穫量は例年を大きく下回ると予想している。トウモロコシおよび大豆の価格は報告期間の終盤にかけて特に上昇した。 貿易面においては、中国の米国産農産品の購入量が不透明な状況が指摘される一方、日本との貿易協定合意など農家にとって良いニュースもあったとした。

（出所）シカゴ連銀経済報告を基にジェトロ作成